



ユビキタスネット社会における
新たな地域ICTサービスの実現に関する調査事業報告書

～ 北九州市：子育てポータル検討 ～

【別冊3】課題一覧・解決策一覧

平成19年3月

目 次

1. 子育て用品リサイクル・販売コーナー	
・課題一覧	2
・解決策一覧	3
2. お祝い・プレゼント・おもちゃコーナー	
・課題一覧	5
・解決策一覧	6
3. 子どもの安全・防犯コーナー	
・課題一覧	7
・解決策一覧	8
4. 出生ワンストップ申請	
・課題一覧	9
・解決策一覧	10

課題一覧			サービス名	子育て用品リサイクル・販売コーナー		
No.	名称	区分	概要	関係者	備考	
1-1	リサイクルの窓口とゴミ処理の窓口を共通化と連携	1	現在は、リサイクルの窓口と、粗大ゴミ申込の窓口が異なっている。 リサイクルの出品の申込と粗大ゴミ処理の申込の窓口を共通化し、用品がリサイクルできなかった場合、粗大ゴミの申込を容易にできるようにする。	利用者(出品者)、 リサイクルプラザ(北九州市)、 粗大ゴミ受付(北九州市)		
1-2	決済機能の提供	1	現在は、リサイクル品の取引に関しては、手渡しを原則としているため、近隣での取引に制約されている。 手渡し以外の距離でも可能とするよう、個人利用者に使い勝手のよい、決済機能を提供する。	利用者(出品者)、 利用者(購買者) 金融機関、 配送業者、 北九州市(粗大ゴミ)、		
1-3	配送関係機能の提供	1	現在は、リサイクル品の取引に関しては、手渡しを原則としているため、近隣での取引に制約されている。 手渡し以外の距離でも可能とするよう、個人利用者が配送の手配や配送に関わる処理を容易にできるようにする。	利用者(出品者)、 利用者(購買者) 配送業者、	配送に関わる費用は、No.1-2の課題に含む。	
1-4	出品者の担保を確認する手段の確立	1	インターネットを介しての、リサイクル売買が可能となるため、利用者の信頼性を確保するため、出品者の認証を行う。	利用者(出品者)	ICT化による新たな課題	

区分 1. システム構築上、システム運用上の課題、2. 法制度上の課題、3. 責任分担、費用負担等、体制上の課題

課題解決施策一覧		サービス名	子育て用品リサイクル・販売コーナー	
No.	課題名称	解決策	解決策選定根拠	備考
1-1	リサイクルの窓口とゴミ処理の窓口を共通化と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てポータルにリサイクルの窓口と粗大ゴミ申込の窓口を設ける。 ・連携性を持たせるため、リサイクルで譲渡が成立しなかった場合、粗大ゴミの申込を促すような機能を提供する。 	子育てポータルの目的の1つである住民の利便性向上につながる。	
1-2	決済機能の提供	インターネットバンキングと連携し、子育てポータルが入金したことを確認できる仕掛けを構築する。	利用者(出品者、購買者)とも個人が多いと想定されるため、クレジット決済やMPNを活用した決済には、なじまない。 現在、個人間での利用に関しては、インターネットバンキングが多い。	
1-3	配送関係機能の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・出品者、購買者の要求に応じ、配送が必要な場合は、配送手配ができる機能を構築する。 ・出品者、購買者の要求があれば、配送業者が管理する配送状況を伝達する機能を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てポータルの目的の1つである住民の利便性向上につながる。 ・子育てポータルでは、コスト面から、独自で配送管理システムを持たずに、配送業者が持つ配送状況を取得し、提供する方法とする。 	
1-4	出品者の担保を確認する手段の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・出品者を事前に審査し、利用を許可する者に利用のためのID/パスワード配布し、サービスを利用する際は、このID/パスワードを認証する。 ・利用を申請する個人が、実存するのか、虚偽を申請していないのか等の個人認証は、ID/パスワードを郵送することにより確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子証明書を利用した担保確認の場合との比較分析を、次ページに示す。 ・現状では、電子証明書は様々な問題点を抱えているため、ID/パスワードを選択するが、電子証明書の普及・活用は継続的な課題である。 	子育てポータル全体の利用者に対して必要となる機能。ただし、ID/パスワードがなくとも、可能なサービスもある。

課題No.		1-4	課題名称	サービス名	子育て用品リサイクル・販売コーナー
No.		解決施策		概要	
1	ID／パスワード事前登録型		<p>利用者を事前に審査し、利用を許可する者に利用のためのID／パスワード配布し、サービスを利用する際は、このID／パスワードを認証し、利用させる方法である。</p> <p>現在では、ID／パスワードの配布をインターネット上で行う場合と、郵送にて配布する2通りがある。</p> <p>前者の場合は、利用を申請する個人が、実存するのか、虚偽を申請していないのか等、運用にて審査を行う必要があるが、運用にて実施するのは、困難である。そのため、実存するのか、虚偽を申請していない等を確認するために、郵送にて配布する方法で実施する。</p>		
2	利用ごとの電子証明書による認証		<p>現在、インターネット上での本人を確認するの手段として、電子署名・電子証明書が利用可能である。子育てポータル各サービスを利用する都度に、利用者認証として、この電子署名・電子証明書を活用する。</p> <p>この方法であれば、認証の必要性に応じて、サービスごとに認証の有無を変更することができる。具体的には、本人確認の不要な情報提供レベルのサービスは、認証なしで利用することができる。</p>		

比較分析結果

No.	分析観点		ID／パスワード事前登録型	利用ごとの電子証明書による認証
1	住民の利便性		○ 1度の登録作業ですべてのサービスが利用可能となる。	× 事前に電子証明書を取得する必要がある。
2	コスト	子育てポータル	× 子育てID／パスワードの郵送代発生(50円/人)	× 認証基盤連携の構築費用(初期費用)
		利用者	○	× 電子証明書取得費用(1000円/人) 読取装置購入費用(3000円程度/1世帯)
3	業務プロセス		× 申請受付・郵送作業あり	○ すべてシステム機能で実施
4	その他		—	— 電子証明書を自治体が無料配布を行えば、No.2の利用者コストは○となり、評価は○となる

出品者を認証する解決施策として、2案を検討したが、個人に費用面で大きな負担を掛けることを理解してもらうのは困難と考えられる。自治体が電子証明書(住基カード代も含む)を無料配布したとしても、ICカードを読み込むための装置を利用者が準備する必要がある。そのため、本課題の解決施策としては、ID／パスワード事前登録型で行うことが望ましい。

課題一覧			サービス名	お祝い・プレゼント・おもちゃコーナー	
No.	名称	区分	概要	関係者	備考
2-1	検索機能と予約・注文機能の連携	1	現在は、何からのイベントやプレゼント等を行う場合、多くの手段で自分の欲しいものを検索している。 また、該当のものが検索できた場合の次なるアクションに応じ、さらに、電話・PC・現地調達等、行う必要があり、手間・時間がかかっている。 そのため、必要なものの検索から、予約・注文までの一連の流れを可能とするような仕掛けが必要とである。	利用者、 お祝い品・プレゼント、・おもちゃ等取り扱い業者、 お祝い等サービス業者	
2-2	決済機能の提供	1	商品やサービスの提供において、費用が発生するが、地元の小売業者等、決済機能を持たないケースがある。そのため、地元の小売業にも積極的に参加してもらえよう、決済機能を提供する。	利用者、 お祝い品・プレゼント、・おもちゃ等取り扱い業者、 お祝い等サービス業者 金融機関、 配送業者	
2-3	地域優先の検索エンジンの提供	1	現状では、地域密着型の検索機能を提供しているものがないため、欲しい情報にたどりつくのに時間がかかっている。	子育てポータル	
2-4	情報のリアルタイム収集	1	本サービスは、関係者からの情報で成り立つ。そのため、鮮度の高い関係者の情報を収集する必要がある。	お祝い品・プレゼント、・おもちゃ等取り扱い業者、 お祝い等サービス業者	

区分 1. システム構築上、システム運用上の課題、2. 法制度上の課題、3. 責任分担、費用負担等、体制上の課題

課題解決施策一覧		サービス名	お祝い・プレゼント・おもちゃコーナー	
No.	課題名称	解決策	解決策選定根拠	備考
2-1	検索機能と予約・注文機能の連携	<ul style="list-style-type: none"> 子育てポータルで検索できた結果から、次のアクション（予約、注文等）ができる機能を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てポータルの目的の1つである住民の利便性向上につながる。 中小の小売業、サービス提供者への顧客窓口の増加により、地域の活性化につながる。 	
2-2	決済機能の提供（小売業者用）	<ul style="list-style-type: none"> 独自に決済機能を持たない中小向けに、インターネットバンキング、クレジット決済と連携し、子育てポータルが入金したことを確認できる仕掛けを構築する。 大手の場合は、独自で提供している機能を活用できるよう、その場合、その機能と連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人一業者間の決済だが、中小企業向けにインターネットバンキング（直接振込）も可能とする必要がある。 利用者の利便性向上のため、可能な業者との取引においては、決済方法の選択権をもたせるため、主流となりつつあるクレジット決済もサポートする。 	
2-3	地域優先の検索エンジンの提供	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の住所地をもとに優先的に結果を返す検索エンジンを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性向上につながる。 	
2-4	情報のリアルタイム収集	<ul style="list-style-type: none"> HPを独自で持つ業者からは、業者のHPを更新した際に、自動的に情報を収集できる仕掛けを構築する。（新たに子育てポータル用に情報を登録する必要はない） HPを独自に持たない業者のために、子育てポータルにコンテンツ登録する機能を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てポータルに参加する業者に対するサービス向上につながる。 コンテンツの鮮度が保てることにより、利用者の満足度につながる。 	

課題一覧			サービス名	子どもの安心・防犯コーナー		
No.	名称	区分	概要	関係者	備考	
3-1	必要な人へのタイムリーな情報配信	1	現状では、最も情報を必要とする子どもを持つ保護者に情報が伝達するまでに、多くの機関を経由しているため、時間がかかっている。また、子どもを通しての伝達となるため、情報が伝わらない可能性がある。 情報の必要な方にタイムリーに情報を伝達する仕組みが必要である。	利用者、 警察署、 消防署、 北九州市・教育委員会、 学校・幼稚園・保育園		
3-2	不審者情報、災害情報の履歴検索窓口の共通化	1	現在は、様々なサイトで、不審者・犯罪に関する情報や災害情報を提供しているが、人により利用するサイトが異なっており、取得できる情報も異なっている。 そのため、市として共通の情報を市民に提供できるよう、過去の履歴に関しても、情報管理元をベースにした情報を検索できるようにする必要がある。	利用者、 消防署、 犯罪情報運営サイト		

区分 1. システム構築上、システム運用上の課題、2. 法制度上の課題、3. 責任分担、費用負担等、体制上の課題

課題解決施策一覧		サービス名	子どもの安心・防犯コーナー	
No.	課題名称	解決策	解決策選定根拠	備考
3-1	必要な人へのタイムリーな情報配信	<ul style="list-style-type: none"> 情報の管理元(警察署)で情報を把握した時点で、子育てポータルが情報を収集し、利用者へ配信する仕掛けを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の管理責任は、情報管理元(警察、消防)であり、子育てポータルでの情報の二重管理は避けるべきである。 タイムリーな情報発信のため、子育てポータルの利用者にも、情報管理元(警察、消防)から直接、配信する方法もあるが、個人情報保護上の問題から避けるべきであり、子育てポータルで情報をリアルタイムに収集後、配信する仕組みを選択する。 	
3-2	不審者情報、災害情報の履歴検索窓口の共通化	<ul style="list-style-type: none"> 不審者情報については、MAPとともに検索・表示ができる、北九州の犯罪情報サイトと連携(Webサービス)する。 災害情報については、消防署の検索サイトと連携(Webサービス)する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存サービスを活用することで、子育てポータルのコストを削減し、利用者の利便性も向上させる。 地域の情報サイトと連携することで、地域の活性化につながる。 	

課題一覧			サービス名	出生ワンストップ申請	
No.	名称	区分	概要	関係者	備考
4-1	いつでもどこでも、一括届出・申請の実現	1	現在では、申請・届出の種類により、受付窓口が異なるため、申請者が該当する複数の窓口を訪れ、申請・届出を行っているため、時間と場所を制約されている状況である。時間、場所に制約されず、窓口を意識することなく一括申請・届出をインターネットからできるようにする必要がある。	利用者、 北九州市（市民課・保険年金課・保健福祉課）	
4-2	申請・届出様式の簡素化	1	現在では、申請・届出の種類により、受付窓口が異なるため、それぞれの申請・届出に応じて申請・届出書を作成している。そのため、同じ内容を何度も記入する必要がある。複数の申請・届出に対し、同一項目を重複して記入させない仕掛けが必要である。	利用者、 北九州市（市民課・保険年金課・保健福祉課）	
4-3	申請・届出者の認証方法の確立	1, 2	出生時の各種申請・届出は、申請・届出書に押印し、窓口にて、免許証等で本人確認を行っている。インターネットでの申請・届出を行う場合は、これら押印・本人確認に変わる仕掛けを検討しなければならない。	利用者、 北九州市（市民課・保険年金課・保健福祉課）	
4-4	第3者発行の添付書類の取り扱い及び認証方法の確立	1, 2	出生時の各種申請・届出には、出生証明書、厚生年金加入証明書、健康保険証等、添付書類が必要となる。インターネットでの申請・届出を実現するには、これら書類の電子化と認証する仕掛けが必要となる。	利用者、 北九州市（市民課・保険年金課・保健福祉課）、 病院、 勤務先、 健康保険関連団体（健康保険組合、社会保険庁）	本課題は、全国的な課題であるため、北九州市のみのICTを使った解決は望めない。

区分 1. システム構築上、システム運用上の課題、2. 法制度上の課題、3. 責任分担、費用負担等、体制上の課題

課題解決施策一覧		サービス名	出生ワンストップ申請	
No.	課題名称	解決策	解決策選定根拠	備考
4-1	いつでもどこでも、一括届出・申請の実現	・子育てポータルから、出生時の各種申請・届出を行う窓口を提供する。	・住民の利便性向上につながる。	
4-2	申請・届出様式の簡素化	・子育てポータルで提供する出生時の各種申請・届出において、同一項目の重複入力はさせない仕組みを導入する。	・住民の利便性向上につながる。	
4-3	申請・届出者の認証方法の確立	・申請者の申請印・本人確認の変わりに、公的個人認証サービスを利用する。	・個人を認証する手段として、公的個人認証サービスが認められている。 ・他民間での個人証明書活用は例がない。	認証方法は、技術的には、公的個人認証サービスで解決するが、個人の電子証明書発行枚数が低迷している現在は、この普及が今後の課題となる。